

No.207



HPは
こちら

坂東地域アグリ通信

令和5年1月26日
坂東地域農業改良普及センター 発行
Tel : 0297-34-2134 Fax : 0297-34-3291

今年もよろしく
お願いいたします

坂東地域4Hクラブ連絡会議 発表練習会をオンラインで開催しました

例年、1月上旬に「坂東地域4Hクラブ活動発表会」を開催し、管内4Hクラブが1年間の取組内容について報告を行っています。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大状況を鑑みて、令和4年度は対面での開催が中止となりました。そこで、代替の試みとして、1月17日にオンライン形式での発表練習会を開催しました。

今回の練習会は、1月27日の「茨城県農業青年プロジェクト実績発表会」に向けた練習の場として設けられました。坂東地域の代表となったあぐり一揆がサテライト会場（古河市中央公民館）で発表の様子を、他3クラブの役員がオンライン上で視聴し、質疑応答や意見交換を行いました。慣れない形式での開催でしたが、質問やコメントが多数あり、非常に活気のある練習会となりました。

今回の発表練習会は、次年度以降の発表会の開催方法を検討する材料になったとともに、各4Hクラブの活動の幅を広げる一つのきっかけとなると期待されます。

後継者クラブのさらなる活動活性化に向け、普及センターは引き続き関係機関と連携しながら支援を継続していきます。



サテライト会場での発表の様子



意見交換の様子（パソコン画面）

猿島ぶどう研究会が現地研究会を開催

猿島ぶどう研究会は坂東地域（坂東市、古河市、境町）のぶどう生産者5名で組織された研究会で、栽培技術の向上や情報交換・収集を目的とした研究活動を行っています。

今年度は1月10日に古河市において、農業総合センター門脇主任専門技術指導員を講師に招き、①シャインマスカット等欧州系ぶどうの短梢剪定の要点、②最近のぶどう品種における若木の樹づくりのポイントについて、現地研究会を開催しました。今回は会員外の新規栽培者も1名加わり、計6名の参加がありました。

まずはじめに、古河市葛生のほ場において、昨年定植した「クイーンセブン」の若木の短梢剪定における芽の切り方、発芽を確保するための発芽促進剤の処理方法および芽傷の入れ方のポイント等について研修しました。

次に古河市磯部のほ場に移動し、昨年定植した「シャインマスカット」の若木の樹づくりのポイントについて再度確認するとともに、土壌改良等の意見交換を行いました。

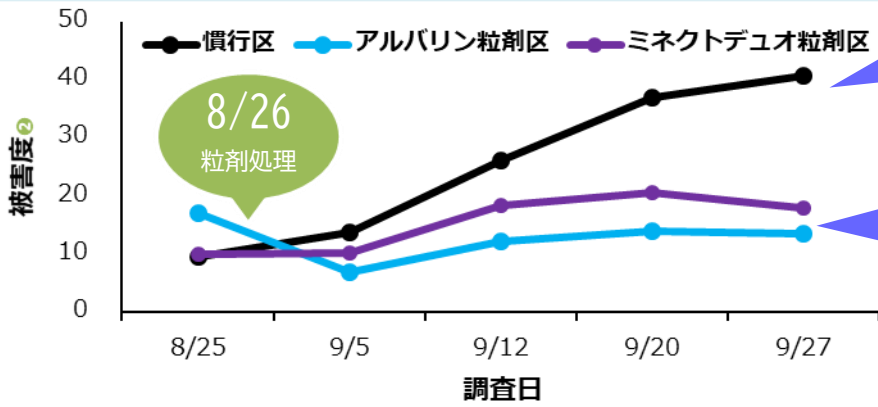
両ほ場ともに来年から収穫開始が見込まれ、再来年には本格的な収穫となる予定です。



【技術情報】ネギ栽培におけるネギハモグリバエB系統に対する粒剤を用いた防除方法



ネギの難防除害虫であるネギハモグリバエB系統に対して、秋冬どりネギ栽培で粒剤を用いた防除試験を実施したところ、①発生ピーク（9月下旬）の1か月前（8月下旬）に粒剤の株元散布を実施する、②アルバリン粒剤/スタークル粒剤、またはミネクトデュオ粒剤を使用する、ことで効果的に防除できました。今後、同様の施用方法で各作型のネギでも同様の効果が得られるか検証する予定です。



【ポイント①】
粒剤未施用の慣行区の被害度は、9/5から9/27にかけて増加しました。

【ポイント②】
8/26にアルバリン粒剤、ミネクトデュオ粒剤をそれぞれ処理した区は、慣行区と比較し被害度の増加を抑えました。

【注意点】
本技術は粒剤施用に頼るものではなく、液剤散布と併用して効果が高まること、散布労力の削減を目的としていることにご留意ください。また、粒剤を使用する際は製品の説明書をよくご確認ください。

- ① 慣行区(粒剤施用なし)、アルバリン粒剤区、ミネクトデュオ粒剤区の3試験区を設け、各区40株を調査した。
- ② 出荷する中心3葉を調査対象とし、ネギハモグリバエによる被害度を以下の被害程度区分と計算式から算出した。
被害区分:被害程度・0=被害なし、1=産卵痕のみもしくは1本の軽微な食痕が見られる、2=複数本の軽微な食痕が見られる、3=複数本の食痕が癒合し、葉の一部が白化している、4=葉全体に複数本の食痕の癒合が見られ、葉全体が白化している。
被害度= $\frac{1 \times (\text{被害程度} \times \text{被害程度別葉数})}{(\text{調査葉数} \times 4)} \times 100$
- ③ 粒剤のほか、慣行防除として9/22に液剤を3試験区全てに散布した。

県西地域かんしょ生産拡大セミナーが開催されます

需要が高まっているかんしょの生産や販売に関する情報提供、地域内のかんしょ栽培の現状と拡大に向けた取り組みを生産者、関係者で共有し生産拡大を推進することを目的とし開催されます。

- ☑ 開催日時 令和5年2月16日（木） 13:30～16:00
- ☑ 場所 茨城県県西生涯学習センター多目的ホール（筑西市野殿1371）
- ☑ 内容
 - ① かんしょの生産・販売状況について
 - ② かんしょ栽培マニュアルについて（県西版）
 - ③ 県西地域におけるかんしょ生産拡大の取組事例
 - ④ かんしょ実需者からの情報提供
 - ⑤ サツマイモ基腐病とその対策について

かんしょ生産者、関心のある方はぜひ参加してみてください！

興味がある方は普及センターまで



2月 土壌診断実施日のお知らせ

2月8日（水）、22日（水）の2回の予定です

- ・個人の農家の方が対象です。
- ・受け付けは前日まで可能ですが**先着順**となりますので、お早めにお持ちください。電話等での**予約は行っておりません**。
- ・1回の診断で50点までの分析となります。超えた場合には次回の診断日となります。
- ・**1人あたり5点以内**の持ち込みでお願いします。

編集後記

本年もどうぞよろしくお願いいたします。
1月から私がアグリ通信を通じて、皆さんに情報を発信していきますのでよろしくお願いいたします。

山本